



亀井 悠喜信

安全・安心な島根県づくり

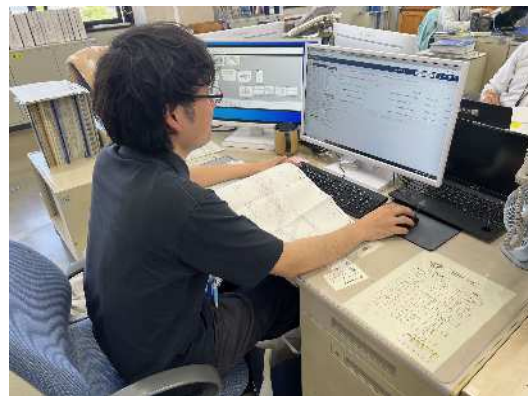
土木部 松江県土整備事務所 農道・防災課
農道・防災係 主任技師

令和3年度採用

県職員を選んだきっかけ

島根県のような施設を造る仕事がしたい

私は高専の専攻科を卒業して島根県職員となりました。学生時代の就職活動では一時は民間企業に就職することも考えましたが、道路、橋、河川、ため池、農地などの色々な施設を整備し、地域社会の発展に貢献できる仕事がしたいと思い、島根県職員（総合土木職）になろうと思いました。また、学生時代に学んだ様々な専門的な知識を余すこと無く活用できるような仕事に就きたいと思ったことも大きな要因です。



現在の仕事内容

地域住民の安全を確保するためのため池整備

現在の私の仕事は、ため池整備事業の工事・施工監督業務です。1つのため池を完成させるまでには、地域住民や農家の方々、市町村職員、施工会社の方々など多くの人と関わるため、様々な意見や要望を収集し、密にコミュニケーションを取る必要があります。このため、仕事を通じて、傾聴力、表現力、問題解決力などの能力が向上したと実感できています。

印象に残っているエピソード

工事完了後の達成感と成長の実感

ため池整備事業の魅力は、計画から完成までの過程を通して具体的な成果を目にすることができるため、工事が完了したときの達成感が非常に大きいことや、地域の発展や安全性の向上に貢献できることです。また、実際の工事に携わることで、学生時代に学んだ土木技術や水理学などの専門的な知識をより深めることができ、成長を実感できる場面が多いです。



ワークライフバランスについて

ご飯（料理）と仕事を充実させる

私は健康的な食事（料理）から、仕事と生活の両方を充実させる働き方を心がけています。一人暮らしの時は毎日、肉と野菜を焼いて食べるだけの生活をしていました。しかし、家事分担で夕食担当になったことで健康的なご飯作りを心がけるようになり、帰宅後の料理の時間を考え、効率よく仕事を行うように変化していきました。今では料理が趣味になり、ストレス解消や充実感を得られ、仕事に対するパフォーマンスに良い影響を与えています。私のオススメ健康食は「かぼちゃスープ🍠」です。